

一般社団法人 大学スポーツ協会 活動報告

2025年12月4日



UNIVAS

大学スポーツの振興に向けたUNIVASの活動

2025年12月4日スポーツ審議会スポーツ基本計画部会団体ヒアリング資料

1. UNIVASの組織概要

■文科大臣令に基づく2016年から3年間に渡る検討を経て、2019年3月に「一般社団法人 大学スポーツ協会」として設立されました。

設立理念

・大学スポーツの振興により、「卓越性を有する人材」を育成し、大学ブランドの強化及び競技力の向上を図る。
もって、我が国の地域・経済・社会の更なる発展に貢献する。
※「卓越性を有する人材」：知・徳・体（生きる力）を備えた身体面・精神面・学業面で優れた人材

会員数

①大学会員：221大学（全国41都道府県）

	大学数	構成比	加盟率
国立	22	10.0%	25.6%
公立	5	2.3%	4.9%
私立	178	80.5%	28.5%
短大	16	7.2%	—
合計	221	100.0%	25.2%

②競技団体会員：39団体（登録学生14万人）

分類		団体数
球技	ベースボール型	2
	ゴール型	8
	ネット型	5
武道・格闘技		10
射的競技		5
水上競技		2
その他		7
合計		39

組織体制

①理事 29名体制

会長	1	福原紀彦	
副会長	2	川原貴・有森裕子	
理事	26	大学代表者	15
		競技団体代表者	5
		有識者	6

②事業推進委員会体制

・デュアルキャリア委員会

・安全安心委員会

・事業企画委員会

・データベース開発委員会

・総合推進委員会

パートナー企業

■民間企業8社とパートナー契約を締結。
共同事業と広告を展開。



ベネッセ i-キャリア



NHKエデュケーション



NXキャッシュ・ロジスティクス

大学スポーツの振興に向けたUNIVASの活動

2025年12月4日スポーツ審議会スポーツ基本計画部会団体ヒアリング資料

2. 大学スポーツ振興に向けた取り組みと成果

・協会設立以来、主に3の重点課題の達成に向けたさまざまな施策を実践して、大学スポーツの振興を推し進めてきています。

クリーン&セーフティスポーツの実現

スポーツによる人材育成

大学スポーツによる地域貢献・ブランディング

クリーン&セーフティ スポーツの実現

64会員団体に安全安心認証を発行

<参考資料1>

・UNIVASは競技横断型「UNIVAS安全安心ガイドライン」に基づき、会員団体におけるスポーツ運営安全安心体制の自立的確立を進める目的で「安全安心認証 (UNIVAS SSC) 制度」を運用しています。安全体制確立状況を評価、合格にて認証を取得した団体は64団体(会員内シェア24.6%)まで伸長してきました。<2025年11月現在>

コンプライアンス研修13千名・学生向けアプリも提供

<参考資料2・3>

・頻発する不祥事を踏まえ、運動部学生が正しい知識を得て自らインテグリティを保てるように促進する目的でコンプライアンス研修会を全国の大学・競技団体に出張開催しています。<通算71回・受講者13,431名>
・また、学生がアーカイブ動画によりセミナーを受講したり、ニュースやクイズ等により意識を保てるようにインテグリティ醸成アプリ「まこトレ」の無償提供を行っています。

大学生へのドーピング防止教育、1000名に実施

<参考資料4>

・トップアスリートのみならず運動部大学生全体にアンチドーピングに対する意識啓蒙、知見提供の目的で教材、活用ガイド、冊子を中心とした研修キット、ショート動画を開発。15大学1,000名超の運動部学生への研修を実施、教材の検収を行い、各大学における自立型研修を促進します。<スポーツ庁受託事業>

UNIVAS CUP指定大会では重篤事故を防止

<参考資料5>

・加盟競技団体が開催する各々のインカレには、有事に備えて医療従事者の配置を助成してきています。競技団体と配置した医療関係者の努力もあり、2019年以来、重篤事故の防止に効果を発揮しています。<通算204大会・医療従事者等1,116名の配置を助成>

2. 大学スポーツ振興に向けた取り組みと成果

スポーツによる 人材育成

27,000名の運動部学生への人間力向上研修を実施

＜参考資料6＞

- ・学業と部活動の両立に加えて、社会人基礎力を高める研修会を各大学、競技団体に出張して開催してきています。スポーツ活動から学べる計画力や課題解決力、組織運営ノウハウやリーダーシップ等、自覚させることによって修得を促進し、学生自身の将来に向けた財産となることを目指しています。

＜デュアルキャリアセミナー：通算600回開催・受講者延べ27,191名＞

大学入学前教育の浸透・定着

＜参考資料7＞

- ・推薦入学内定者に対する大学学修の準備、学力補填の為の復習を支援する目的で、入学前～初年次教育用の5種類のオリジナル教材を開発。活用支援サポートも行い、導入大学の拡大を進めてきています。

＜入学前～初年次教材導入・57大学(会員内シェア25.8%)＞

大学スポーツによる 地域貢献 ブランディング

大学スポーツによる地域貢献促進・68のモデル創出

＜参考資料8＞

- ・地域における大学の存在価値を高め、地域社会への貢献を促進する為に、スポーツをテーマにした大学のリソースを活用したモデル事業を各大学の知見も結集して数多く創出し、全国に向けて横展開を推進してきています。スポーツ庁受託事業の継続実施に加え、民間企業の参画も開始し、大きなムーブメント形成をすすめてきています。＜大学スポーツ地域貢献モデル：68事業創出(2022-2025年)＞

運動部優秀学生567名を表彰、社会へ排出

＜参考資料9＞

- ・UNIVASの理念を体現する心技体に優れた運動部学生と学生を支えた人々、組織を表彰するUNIVAS AWARDSを初年度から継続して開催。彼らの栄誉を讃えるとともに、UNIVASが目指す大学スポーツのシンボルとして社会に向け情報発信をおこなっています。＜表彰した運動部学生567名(2019-2024年)＞

3. 現状の課題と対応

①UNIVAS加盟会員数の
更なる拡大

・新たな大学の加盟進捗するも、少子化や経営上の問題による中小規模大学の退会もあり、結果、加盟大学数は微増にとどまる。＜加盟221大学・39競技団体(2025年上期末)＞

②大学におけるスポーツ
ガバナンスの確立

・課外活動である運動部活動に対しての、大学としての責任ある関与体制の構築をスポーツ庁とともに推進してきたが、運動部統括部局を設置した大学は92大学に留まる。

③大学スポーツに対する
社会支援の拡大

・2024年以来、大学スポーツ振興にともに取り組む数多くの民間企業参画による財源確保に向けて企業開拓活動を推進中。更に多くの企業の参画を目指す。＜協賛企業8社・2025年11月現在＞

④事業推進と拡大に向けた
収入基盤の強化

・協賛・寄付による他社支援の獲得に加えて、大学スポーツを起点とする自主財源確保策の開発を新たな事業開発と成長に向けて検討を進める。

4. 第四期スポーツ基本計画に期待すること

・設立後6年半のUNIVAS活動であり、大学スポーツ振興は道途上と認識しておりますので、大学スポーツに対するさらなるご支援願います。

①大学スポーツの役割明示
と地域連携の推進

・「大学による地域連携・地方創生のファクターとして「大学スポーツ」の重要性を明示いただくとともに、UNIVASがハブとなって地方創生を推進していくことが期待される」とUNIVAS(大学スポーツ協会)の名称を基本計画に明示願いたい。

②スポーツの社会価値創造
への取り組み

・スポーツ振興に貢献する企業への社会価値創造を検討いただきたい。スポーツを支援する企業やスポーツに取り組む企業が増大することにより、スポーツ振興が更に進展することが期待できる。

③新たな時代における
スポーツの在り方

・少子化や気候変動等、著しい社会環境変化が予見できる中、生活におけるスポーツの存在価値と意義に関して明示をお願いしたい。